

三一三五番

近くちかあれば 名なのみも聞ききて 慰なぐさめつ 今こよひ夜ゆゆ  
恋こひの いや増まさりなむ

三一三六番

旅たびにありて 恋こふれば苦くるし いつしかも 都みやこに  
行ゆきて 君きみが目めを見みむ

三一三七番

遠とほくあれば 姿すがたは見みえず 常つねのごと 妹いもが笑あま  
ひは 面影おもかげにして

三一三八番

年としも経へず 帰かへり来こなむと 朝影あさかげに 待まつらむ妹いもし  
面影おもかげに見みゆ